

2018 年 5 月 9 日

## 中国のユニコーン企業の概要(2) ～急成長する中国のスタートアップ～

経済・産業の高度化に向けイノベーション政策を推進する中国でユニコーン企業の増加が目立っています。前回の本レポートでは、世界のユニコーン企業の中で中国企業の存在感が高まっている状況、中国ではスタートアップからユニコーンに成長するまでの成長ペースが米国に比べて速い状況を概観したうえで、2017年3月に中国科学技術部火炬科技産業開発中心と民間調査会社の長城戦略諮問が共同で発表した『2016 中国ユニコーン企業発展報告』(以下、『発展報告』)を基に、中国のユニコーン企業について、評価額別、設立年別、業種別に紹介しました。本稿では、『発展報告』を基に、地域別の分布などを簡単に纏めます<sup>1</sup>。

### ユニコーン企業の選出基準

前回レポートで言及した通り、『発展報告』では中国のユニコーン企業選出基準として以下の4つを定め、この基準を満たした131社をリストアップしています。131社の評価額は合計で4,876億米ドル。18業種に分類され、本社所在地は16都市に分かれています。

- (1) 中国内で登録し、法人資格を具備する企業
  - (2) 設立から10年未満(2006年以降に設立)
  - (3) プライベートエクイティファンドからの投資を仰ぎ、未上場
  - (4) (1)(2)(3)の条件を満たし、且つ企業評価額が10億米ドル以上
- \* (1)(2)(3)の条件を満たし、且つ企業評価額が100億米ドル以上の企業は「スーパーユニコーン企業」と称す。

### 地域別分布

地域別分布をみると、北京市、上海市、杭州市、深圳市の4都市だけで115社(88%)を占めています。うち最多は北京市で65社、次いで上海市が26社、杭州市、深圳市が各12社と続きます。4都市以外では、天津市が3社、広州市と武漢市が各2社、寧徳市、貴陽市、南京市、青島市、蘇州市、香港、長沙市、重慶市、珠海市がそれぞれ1社となっています。

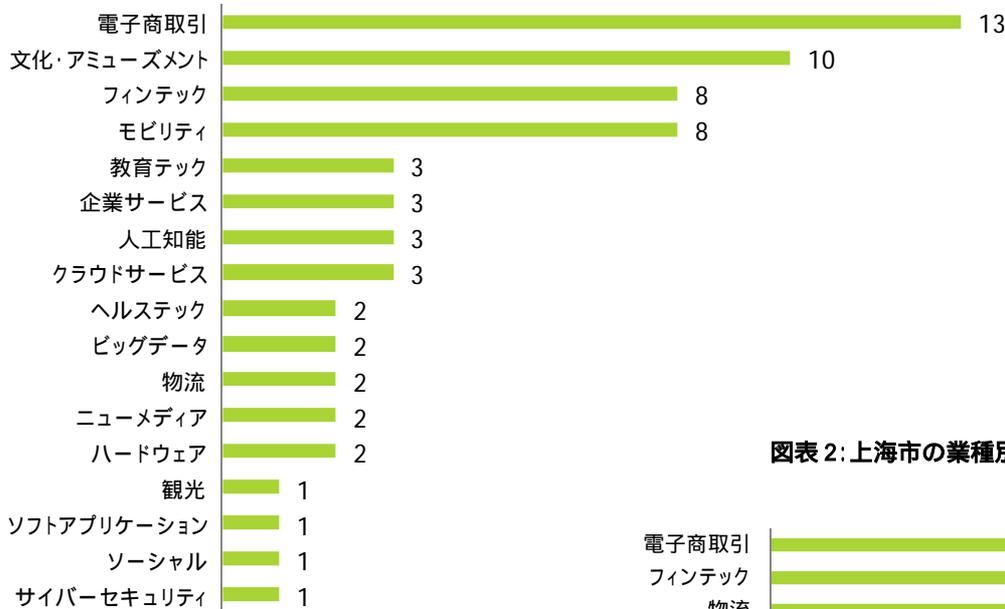
以下では、北京市、上海市、杭州市、深圳市の4都市の主な特徴をみてみます。

### 北京市

ユニコーン企業が最多の北京市は、企業数65社と全体の半数を占め、これら企業の評価額は2,137億米ドルと、全体の44%を占めます。北京市に集中している背景の一つには、大学や研究機関が多く、新たなビジネスモデルや技術が誕生しやすい環境が整っていることがあります。業種別では、18業種のうち、不動産テックを除く17業種がカバーされています。

<sup>1</sup> 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』から抜粋した情報のため、評価額などは現在と異なる場合があります。

図表 1: 北京市の業種別企業数



(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

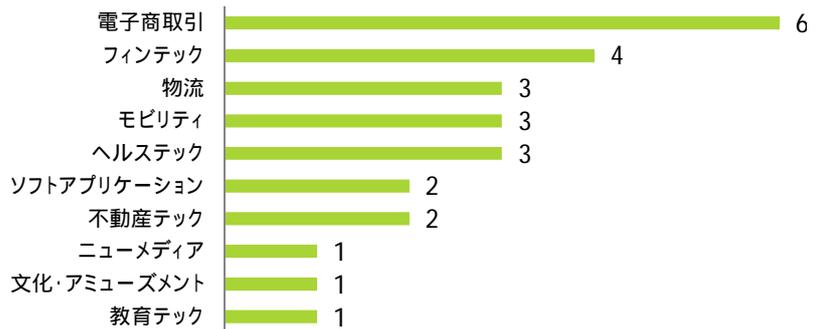
## 上海市

上海市の企業数は 26 社(全体の 20%)、評価額は 722 億米ドル(同 15%)。業種別では、電子商取引やフィンテックなど 10 業種をカバーし、うち、インターネットと他産業の融合である「インターネットプラス」関連の企業数が 60% 以上を占めます。

個別企業をみると、評価額 1 位の陸金所(Lufax)は中国平安保険集団の傘下企業で、2011 年に上海市で設立されました。当初はインターネット上で資金の貸し手と借り手を結びつける P2P レンディングからスタート。徐々にサービスを拡充し、現在は総合金融サービス業者として、中国のフィンテック企業の代表格の一つとされます。2 位の衆安保険<sup>2</sup>は 2013 年に設立された中国初のインターネット専業保険会社です。

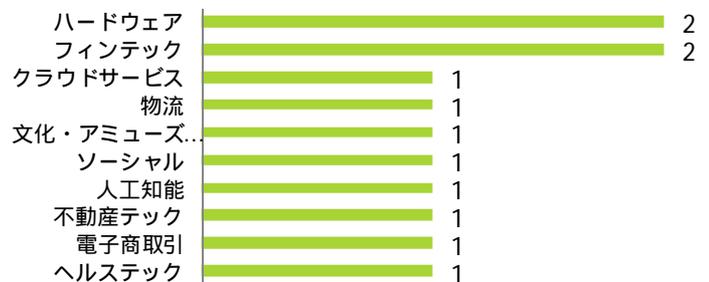
<sup>2</sup> 2017 年 9 月に香港証券取引所に上場

図表 2: 上海市の業種別企業数



(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

図表 3: 深圳市の業種別企業数

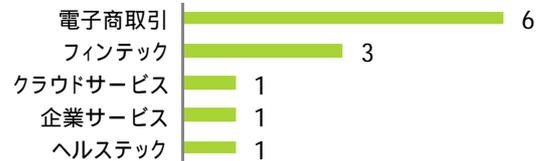


(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

## 深圳市

深圳市の企業数は 12 社(9%)で、評価額は 393 億米ドル(8%)を占めています。深圳市で特徴的なのは、ドローンの大疆創新(DJI)、超薄型カラー・フレキシブル・ディスプレイやフレキシブル・センサーといったフレキシブル・エレクトロニクスの桑宇科技(Royole)、家庭用 AI ロボットの優必選科技(Ubtech)、AI を駆使したヘルスケアアプリの碳雲智能(IcarbonX)など技術集約型の企業が多いことで、「世界の工場」として形成されてきた製造業サプライ・チェーンが活用されている格好といえます。

図表 4: 杭州市の業種別企業数



(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

## 杭州市

杭州市の企業数は深圳市と同じ 12 社です。杭州市は、評価額 1 位の蚂蚁金融(Ant Financial)、2 位の阿里雲(Alibaba Cloud)といった阿里巴巴(Alibaba)グループの企業が半数を占めているのが特徴的です。業種別では、6 社が電子商取引、3 社がフィンテックと、オンラインサービス関連の業種が主流となっています。

以上のように、ユニコーン企業数が最多の北京市は業種も幅広い分野に及びます。一方、深圳市はハードウェア系技術の企業が、上海市、杭州市はソフトウェア系技術を主流とした企業が比較的多い状況が読み取れます。

図表 5: 主要 4 都市の主なユニコーン企業(評価額 50 億 USD 以上)

都市	企業名		評価額 億 USD	設立年	業種
	中国語	英語			
北京	小米	Xiaomi	460	2010	ハードウェア
	滴滴快的*	Didi kuaidi	338	2009	モビリティ
	美团点评	Meituan	180	2010	電子商取引
	今日头条	Toutiao	92	2012	ニューメディア
	借貸宝	Jie tai bao	76.9	2014	フィンテック
	京東金融	JD Finance	71.8	2013	フィンテック
	樂視移動	Le Mobile	55	2014	ハードウェア
上海	陸金所	Lufax	185	2011	フィンテック
	衆安保險	Zhong An Insurance	76.3	2013	フィンテック
深圳	大疆創新	DJI	100	2006	ハードウェア
	菜鳥網路	Cainiao	76.9	2013	物流
	微眾銀行	WeBank	55	2015	フィンテック
杭州	蚂蚁金服	Ant Financial	750	2014	フィンテック
	阿里雲	Aliyun	390	2009	クラウドサービス
	口碑	Koubei	80	2015	電子商取引

\*現在は滴滴出行 (出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

### 系列のユニコーン企業

ユニコーン企業の中では、BATと呼ばれる百度(Baidu)、阿里巴巴(以下、Alibaba)、騰訊(以下、Tencent)などの大手企業が出資して設立した企業、又は投資した「系列企業」<sup>3</sup>が少なくありません。中でも多いのは、Alibaba と Tencent の系列企業で、131 社中、Alibaba 系列の企業は 14 社、評価額で計 1,988 億 5,000 万米ドルと、全体の約 4 割を占めます。個別では、総合金融サービスの蚂蚁金服(Ant Financial)やオンライン映画チケット販売の淘票票(Taopiaopiao)、Alibaba グ

<sup>3</sup> 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』の中に出資比率に関する明確な定義は記されていません。

香港発  
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION  
**SMBC Business Focus**

ループの電子商取引を支える物流の菜鸟网络 (Cainiao) などがあります。

Tencent 系列の企業は 16 社で、評価額で 1,320 億米ドルと、全体の約 25% を占めます。個別では、クラウドサービスの騰訊雲 (Tencent Cloud) や電子書籍の閱文集団 (China Literature)<sup>4</sup> といった Tencent が設立した企業のほか、資本参加している企業に電気自動車の蔚来汽車 (NIO) などがあります。

図表 3 Alibaba と Tencent の主な「系列企業」

業種 1	Alibaba					Tencent				
	企業名		業種 2	設立年	本社	企業名		業種 2	設立年	本社
	中国語	英語				中国語	英語			
フィンテック	蚂蚁金服	Ant Financial	総合金融サービス	2014	杭州	微衆銀行	We Bank	オンライン融資	2015	深圳
	融 360	Rong360	金融情報サービス	2011	北京	人人貸	Renrendai	オンライン融資	2010	北京
電子商取引	淘票票	Taopiaopiao	オンライン映画チケット販売	2014	杭州	口袋購物	Koudai Gouwu	M コマース	2011	北京
文化アミューズメント	阿里音楽	Alibaba Planet	音楽配信	2015	北京	閱文集団	China Literature	電子書籍	2015	上海
クラウド	阿里雲	Aliyun	クラウドプロバイダー	2009	杭州	騰訊雲	Tencent Cloud	クラウドプロバイダー	2010	深圳
物流	菜鸟網路	Cainiao	スマート物流	2013	深圳					
モビリティ						蔚来汽車	NIO	電気自動車	2014	上海

(注) 業種 1 は『2016 年中国ユニコーン企業発展報告』に基づく分類、業種 2 は弊行が備考として追加  
(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

\* \* \*

本レポートでは、『発展報告』に基づき、2 回にわたって中国のユニコーン企業の概況を紹介しました。中国政府が産業高度化や経済成長の新たな牽引役創出に向け、「大衆による創業、万人によるイノベーション」を推進し、起業家サイド、ベンチャーキャピタル (VC) などの資金供給サイドの両者に政策支援を実施するなど、中国のユニコーン企業の成長は、政策支援が大きく関係しています。さらに、スマホの急速な普及、それに伴う消費モデルの変化といった環境要因など、様々な要素が複合的に絡み合って新たな企業、それら企業による製品、サービスが生まれています。今後、ユニコーン企業を含むスタートアップ企業の勢いが更に加速するのか、そしてそれら企業によるイノベーションがこれからの中国の成長の牽引役になるのか、中国の経済動向を占ううえでも目が離せません。

(執筆: 株式会社三井住友銀行 グローバル決済業務部 香港チーム)

本誌内容に関するご照会は、お取引店までご照会ください。

<sup>4</sup> 2017 年 11 月に香港証券取引所に上場

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は法律、規制、財務、投資、税務、会計上の助言を行うものではありません。本資料は、作成日時時点で弊行が一般に信頼できるとされる資料に基づいて作成したものです。情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いただきますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的、機械的、またはその他の手段を問わず、書面での事前同意なしに開示、複製または転送等することを禁じております。